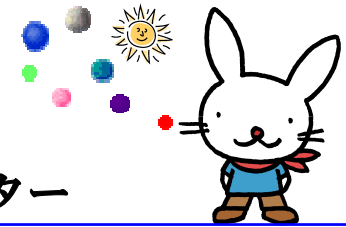




We Love こたつ

Love

— 子ども発達学部ニュースレター —



2008年度 第2号 12月1日発行

子ども発達学部開設記念事業を終えて

学部長 亀谷 和史

去る7月26日(土)、美浜キャンパス(文化ホール及び15号館)にて、子ども発達学部開設記念事業を3部構成で、盛大に実施することができました。

第1部では、障害児保育・教育の第一人者である茂木俊彦氏(元東京都立大学総長・現桜美林大学教授)をお招きして、「未来の子どもたちへ—これからの保育・教育と子育て支援—」というテーマで記念講演をしていただきました。同窓生、地域の教育関係者、一般参加者、学生・本学教職員を含め、約400名の参加があり、有意義で充実した記念講演会が実施できました。茂木先生には、講演内容を活字にまとめていただき、学部研究紀要の『子ども発達学論集』創刊号に巻頭論文として掲載していただく予定です。

また、第2部では、子ども発達実習棟(15号館)のお披露目を兼ねて、新任の先生方のご協力の下で、保育・初等教育の体験企

画を実施いたしました。あわせて近藤直子教授(心理臨床学科長)には、「今日の発達支援の到達点と課題」というテーマでミニ講義を行なっていただきました。

第3部では、旧短期大学部・社会福祉学部保育課程等の卒業生を中心とした同窓会を、新学部・同窓会の共催で開催いたしました。懐かしい、そしてなごやかなひと時を送ることができました。

同窓生を始め、関係者の皆様のおかげで、盛大な開設記念事業となりましたことを、この場をかりて、厚く御礼申し上げます。

今後とも、大学にエンパワーをかもし出す、“フレッシュ”な子ども発達学部を、このニュースレター『We love こたつ』とともに、どうかよろしく願い申し上げます。



茂木俊彦先生の講演

7月26日(土)当日のスケジュール

第1部 開設記念講演会13:30～15:00
未来の子どもたちへ
—これからの保育・教育と子育て支援—
講師：茂木 俊彦 氏
(桜美林大学教授、元東京都立大学総長)

第2部 実技・体験講座、ミニ講演15:15～
◆実技・体験講座
図画工作室、音楽実習室、保育実習室、理科実験室での体験企画
◆なるには講座
幼稚園・小学校教諭、児童福祉施設の職員になるには？
◆ミニ講座および発達支援相談
今日の発達支援の到達点と課題
講師：近藤直子 教授

第3部 女子短期大学部・保育課程同窓会

第2部の体験企画の様子(子ども発達実習棟にて)



大人も入れる巨大積木アートにびっくり!



山田先生も楽しそう～



音楽発表に緊張の面持ち・・・

子ども発達学部ゼミ紹介

ゼミでは、学生の関心に応じて、いろいろなテーマで学習が行われています。おおまかですがゼミの様子を紹介したいと思います。

ゼミ風景(右写真)



子ども発達学科

=遠藤ゼミ=

名簿順や誕生日順などでいろいろな分け方でグループを作り、後期は様々なアクティビティを楽しくやっています。

=塩野谷ゼミ=

前期で保育分野を調べ、後期には学んだことを生かして興味のある食の安全性・児童虐待などについてグループで研究しています。

=松下ゼミ=

グループ研究(体育・あそび・書道・手遊び)をしています。アクティブに活動しています。

=水野ゼミ=

子ども中心にグループ研修(食事・おもちゃ・あそび)をしています。嫌いなものをどうやったら食べさせられるか考えます。

=守山ゼミ=

好きなテーマでグループ別で研究します。子どもの反射仕草・運動会などの子どもに関するテーマが多いです。

=山本ゼミ=

グループ別に研究しています。内容は死刑・裏サイト・子どもの権利などです。後期はより詳しく調べています。

=渡辺ゼミ=

研究調査として、登校時の女子の服装の色はどんなか?というテーマで調査しました。

学生による1年生ゼミ紹介

心理臨床学科

=池谷ゼミ=

前期は、養護学校に行き、後期は依存症・恋愛カルチャー・少年犯罪・障害者など個人のやりたいテーマをグループに分けて、発表をしています。

=磯部ゼミ=

一人一人個性があり、仲の良いゼミです。グループを作ってテーマを決めたりして、1つ1つの興味・関心を持ったことを調べて発表しています。

=大和田ゼミ=

話すのが大好きな先生は、よく学生にツッコみます。しかし先生は学生の意見を尊重してくれる仲良しゼミです。

=佐々木ゼミ=

5つのグループに別れて、グループごとに興味を持ったことを調べて発表をしています。例えば、地球温暖化や全国の方言についてです。

=前原ゼミ=

個性豊かなメンバーで前期はグループで興味のあることを調べ発表をしました。後期は映画を見る予定。そこから色々なことを感じとれたらと思います。



バレー大会!



ゼミコンの様子





乳児院実習（保育課程）

この施設は、赤ちゃんのもう一つの家という方針であり、保育をする、というよりは一緒に楽しく生活する場でした。0～2歳児が20人近くいて、色々な個性が見えますが、みんな可愛すぎる！たくさんのおめ玉を見ているようで思わず和みます。🌀な感じで小さすぎて可愛い子もいれば、にぱー👉と笑顔で寄ってきてくれる子もいました。職員の仕事はオムツ替えや食事介助などの援

助、そして思いっきり遊ぶことです。近くに来た子をツッシャー！と高い高いすれば、みんな次々にきますし自分も笑みがこぼれます。職員の方、様々なことを教えてくれて、とても意義ある実習になりました。

社会福祉学科 4年 鈴木 原野



施設実習（保育課程）

私は施設実習で知的障害児通園施設に行かせていただきました。保育実習とは異なり、小集団で組が編成してあることから、子ども一人ひとりと関わる場面が多くありました。非言語的なコミュニケーションの中で、子どもと向き合うこともあれば、喜びを分かち合うこともありました。

又、母子通園日には保護者の方との関わりも多くありました。子どもが障害を持っていることを受容しきれない保護者の方

や、実習生に慣れていて子どもの障害について話してくださる保護者の方もいました。そこから、保育士として保護者の方とのより良いパートナーである必要性などを考えました。

このような貴重な体験を生かし、現代に必要とされる保育士を目指していきたいと思います。

社会福祉学科 4年 丹羽 徹

知的障害児通園施設での1日の流れ

母子クラス（保護者の方と一緒に1日を過ごすという通園形態）

登園	体操・おはようの会	クラス活動	給食	身支度・さようならの会	降園
9:45	10:00	10:30	11:20	12:45	13:00

単独クラス（子ども達のみで1日を過ごすという通園形態）

登園	おはようの会	クラス活動（主活動）	給食	あそび（室内・戸外グループ活動）	おやつ	さようならの会	降園
9:45	10:20	10:45	11:20	13:00	14:00	14:40	14:50

介護等体験（教職課程）

介護等体験の一環として、私は知的障害者授産施設へ行きました。施設の雰囲気がとてもアットホームな感じだったので、利用者の方や職員の方ともすぐに打ち解けることができました。その為、会話を通じて様々な視点や考え方を学びました。授産施設は、特別支援学校で修学を終えた方の就職先の一つです。施設職員の方から見た特別支援学校の進路指導のあり方に対する考えや、利用者の方の目線から見た社会福祉協議会のイベントに対する意見など、その施設の中で共に暮していないとわからないようなことが、たくさんありました。

今後、皆さんも介護等体験を行うと思いますが、学ぼうという姿勢がなければ学べることも学べずに終わってしまうと思います。ですから、何事に対しても「学ぶ姿勢」を大切にしてほしいと思います。

社会福祉学科 3年 神邊 琴実





中学校教育実習（教職課程）

私は今年の6月に、3週間ほど中学校に教育実習に行かせていただきました。

私の担当は3年生で公民だったのですが、はじめの一週間の毎日は授業準備と担当教官との打ち合わせで過ぎていきました。授業は担当教官の見学になります。また、生徒との距離を近づけたかったので、休み時間は校庭で一緒に遊んだり、放課後は部活で汗を流したりしました。二週間目からは実際に教壇に立ち、毎日の反省会、翌日の授業準備に追われます。三週間目には研究授業をやり、授業反省会で先生方から貴重なご意見をもらって教育実習が終わりになります。

ここまで読むと不安と焦りが出てくるかもしれませんが、終わった率直な感想としては、楽しくて勉強になった、の一言に尽きます。生徒たちは積極的に話しかけてきてくれるし、授業でも実習生に協力してくれます。また、指導教官以外の先生方も気軽に話しかけてくださって、とても実習をしやすい環境を作ってくださいます。大切な事は、緊張していても礼儀をしっかりと、元気に毎日過ごす事です。この経験を生かして、より高いレベルを目指して頑張っていきたいと考えています。

社会福祉学科 4年 石田 明己

登校	朝の会	午前授業	給食	昼休み	午後授業	帰りの会	部活	下校指導	下校
7:30	8:00	8:40	12:30	13:00	13:40	15:30	16:00	18:30	20:00

教員紹介



中里南子(初等教育専修)

音楽Ⅰを担当しています。

みなさんはケータイの着メロからCD、カラオケなど音楽に囲まれた、環境にあります。それを聞いて好みの選択にとどまるだけでなく、その音楽の成り立ちの理解につなげてほしいのが、音楽Ⅰの授業です。流れていく音は楽譜を音にしているので、楽譜の成り立ちと音の関係を学びます。音を消費する側だけにとどまらず、音楽の仕組みを解明する力を与えてくれるかもしれません。

来年からは音楽Ⅱ(ピアノのレッスン)も担当します。これまでの各自の音楽経験に即して取り組みをします。みなさんの日ごろ接触している音楽と音楽の授業は関係なさそうですが、自分の音楽的好きを自覚したり、自らの音楽表現ができるようになると、将来の職業にとどまらず人生が楽しくなりますよ。

ジャズ・Jポップス・ロック・伝統音楽・西洋音楽と、ジャンルに捉われない「音」の「楽しさ」を色んな角度から追求し、皆さんと一緒に一歩ずつ前に進みたいと思っています。

学生に公募していたニュースレターのタイトルは「We ♥ こたつ」に決定しました。子ども発達(「こどもはつたつ」)の『こたつ』です。暖かい団樂のイメージと重ねているそうです。



瀬地山 葉矢 (心理臨床学科)

「カウンセリング論」や「学校心理臨床論」を担当しますせちやます。大学外では、精神科病院などで臨床心理士の仕事をしています。

人が”その人”と成っていくとき、あるいは自分の体験した世界を言葉や言葉以外のもの(身体の動き、姿勢、声の調子、テンポなど)で表現するとき、そこに他者とのかかわり合いが心理的のどのような意味で必要なかを、親と乳幼児の相互交流の観察を通して考えています。このことは、心理療法におけるクライアントとセラピストの情緒交流を考えるうえでも大切な問題です。

言葉に表しがたい体験や感覚が、言葉に出会う瞬間に心弾むせい、研究室でも自宅でも、机の上に俳句集や詩集を置いて、気の向いたときにパラパラめくっています。時間がない時の息抜きにもなります。

好きな俳優は、最近は瑛太。「篤姫」に登場する肝付尚五郎も素敵だし、テレビCMに出てくる28歳のタラちゃん(!!)も釘付けになって見えています♪

ニュースレター(こたつ)のイラスト、記者を募集中です。近藤直子学科長または学事課(佐藤)へ。

